



Southern Cross 2016 No.4



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au
e-mail: info@japaneseschool.wa.edu.au

2016年7月1日発行

基礎基本

校長 春日二郎

子どもたちにとって、学校は知識の宝庫です。分からないことを聞けば必ず答えを出してくれる先生がそこにいる、そこが学校としての基礎基本です。学校では、子どもたちが着実に成長していきます。学期を振り返ると、その成長の大きさに驚かされます。

子どもたちの持つ知識の吸収力の高さは、子どもたちの集中力の高さでもあります。子どもたちの集中力は意欲的な学習への姿勢から生まれ、その意欲は、学校へ来て初めて高まるものではなく、学校での自分の活躍を認め励ましてくれる家庭での会話の中から生まれます。子どもは（大人になっても同じですが）、親に認められ、褒めてほしいと思いますし、親の期待に応えたいと願っています。子どもは学校にいても家庭の声に支えられて生活しています。



そんな子どもたちの笑顔が6月12日、親子レクリエーション大会で弾けました。子どもたちが考えた4種目は全て追いかっこ種目でした。追いかっこは子ども同士が互いのつながりを大変強く感じられる遊びです。親子での遊びに追いかっこを選んだ子どもたちとお家の方々が思いっきり走れた時間になりました。



水曜日、朝の読み聞かせにボランティアのお母さん方が来てくださいます。

日頃から家庭でも子どもに読み聞かせをすることが多く、ご自身が本を好きで楽しんでおられるようです。本に出てくる内容を実感してもらえるように登場する果物を持参して下さったり、民話を題材にした本を選んで下さったり、他の国を知ってほしいとお話を用意して下さったり、高学年のために古い文学作品を情緒たっぷりに朗読して下さったり、ご家庭での工夫を生かした、お母さん方がつくる世界に子どもたちはひきつけられ、想像力を高めています。



2校時終了後、運動保健委員の子どもたちが、アセンブリーホール、倉庫、手洗いの清掃をします。

中学生が自分たちの教室とは別に、火曜日はトイレ、金曜日は理科室・音楽室の清掃をします。

毎日の教室清掃、そして毎週1回の朝清掃（縦割り班での校舎内外の全校清掃）と合わせ、日本の学校らしく、「自分たちの勉強場所は自分たちで美しく」が日本人学校の基礎基本です。

日曜参観・親子レクありがとうございました

6月12日(日)、日曜参観・親子レクリエーションを開催致しました。お忙しい中たくさんの保護者の皆さまにご来校いただき、ありがとうございました。

午前中の授業参観では、小学部については各担任の授業をご覧いただき、中学部については教科担任の授業をご覧いただきました。

また、お天気が心配された午後からの親子レクですが、最後まで雨に降られることなく、無事全てのレクリエーションを行うことができました。図書委員会企画の「氷おに&おひっこし」、運動保健委員会企画の「どろけい&しっぽとり」、PTAの企画の「〇×クイズ」、どの企画も大変盛り上がりしました。



ふれあい訪問

6月22日(水)、1・2・3年生が、「ふれあい訪問」としてOcean Gardenを訪れました。子ども達は、お手玉や輪投げ、剣玉、こま回し等の昔遊びの技を堂々と披露したり、英語で「雨降り」「Walzing Matilda」を元気いっぱい合唱したりしました。その後子ども達は各テーブルへ出向き、高齢者の方々と福笑いを行いました。英語で遊びを説明したり一緒に遊んだりして、心温まる楽しいひと時を過ごすことができました。



英語科校外学習

6月30日(木)、英語科校外学習として、KANYANA Wildlife CentreとLesmurdie Fallsへ行ってきました。幸いお天気にも恵まれ、気持ちのよい青空の下、施設の方の説明を聞いたり保護された動物たちと直にふれ合ったりしました。昼食後はLesmurdie Fallsに移動し、皆で美しい景色を堪能しました。



JSPよもやま話

パースではかんきつ類のおいしい季節。おいしくて、栄養たっぷりのみかん(3個で1日に必要なビタミンがとれる)はみんな大好きです。和歌山県では、冬にみかんを買うことがあまりありませんでした。誰かが箱でくれるのです。知り合いをたどれば誰かがみかん農家。冬には1日に10個くらい食べるのが常でした。

さて、そんなみかんですが、様々な品種があります。日本全国で売られているのはおよそ84種にもなるそうです。しかし、その品種の中には地元で売っていたみかんが含まれていませんでした。おそらく、まだ地元でしか出回っていない品種もあるのでしょうか。「いよかん」「きよみ」「はるみ」「はるか」など、可愛らしい名前のおいしいみかんがたくさんあります。紀伊国屋文左衛門が紀州のみかんを江戸に広めてから約300年、多くの品種改良やブランド化が行われ、農家の方々が様々な工夫を凝らしていることがわかります。

今回「先生のお話」をするに当たり、自分の知っていることだけでは不十分だったので、新たにみかんについて調べました。その中で、資料を読むのに国語の力、生産量を比べるのに算数の力、歴史を知るのに社会の力と様々な学習が役立ちました。興味のあることを調べるには、今子どもたちが勉強している一つひとつが大切なのです。「勉強って何の意味があるの。」と感じた人には、ぜひ調べ学習を試してみてください。

このホリデーはみかんで栄養を補給し、興味のあることを調べたりまとめたりすることに挑戦してください。

(小川)

